

すべての女性が輝く明日のために

JAUW会報

第281号
2024年3月



一般社団法人
大学女性協会



特集 2024年度全国総会・第13回定時会員総会日程 国内奨学金贈呈式

会長挨拶……………	2	文化交流委員会報告……………	10
「つながり支え合う」JAUWを目指して 総会担当・愛知支部より		Jカフェ第16回報告	
2024年度全国総会……………	3	支部だより……………	11
第13回定時会員総会日程		長野支部、熊本支部	
国内奨学金贈呈式……………	4~7	お知らせ……………	12
「GWI 会員広場」講演報告……………	8	守田科学研究奨励賞贈呈式、 パトリシア募金寄付者ご芳名、コンサート、 CSW68 派遣生決定、収益事業委員会報告、 新入会員、理事会から	
生涯学習委員会報告……………	9		

「つながり支え合う」JAUWを目指して 会長 岩村道子



令和6年は、元旦の夕方の能登半島地震により、いつもの新年とは違う幕開けとなりました。今日この日に至ってもライフライン復旧ができていない地域が多々あり、避難所や被害を受けたままの自宅で厳しい寒さの中、辛い生活を送っていらっしゃる方たちのご様子に心痛む思いです。全国支部長にお見舞いのメールを差し上げたところ、さいわい、

金沢、新潟、福井、長野の支部会員の方たちは大方ご無事とのことでした。大学女性協会ではこれまで災害発生の際、募金活動をおこない義援金を災害地にお届けしております。今回も、1月13日の「新春のつどい」にご出席のみなさまのご協力をお願いし、また、支部長、委員長にメールをお送りして会員全ての方への呼びかけをお願いしています。

生涯学習委員会がこれまでの大災害に遭遇した多数の会員のご寄稿をもとに数年かけて企画編集した『災害の記憶をつなぐ』が一般書として昨年発刊されました。防災対策、被災者支援などについて女性の視点で書かれた書物として、会員のみならず寄贈先の行政機関や諸団体から、多大な賛辞を頂戴しています。能登半島地震が発生した今、この本の発刊の意義を再認識すると同時に、災害国日本にあって災害は記憶するだけでなく常にどこでも起こりうることを痛感しています。

3年余りにわたるコロナ禍の終焉後、世界ではウクライナとロシア、イスラエルとガザの終わりの見えない2つの戦争が続いており、また、地球温暖化など地球環境の悪化も改善の糸口が見つからないまま進行しています。誰も豊かさや幸せを享受できる世界の到来を疑わなかった時代ははるかかたに遠ざかってしまった今、若い世代の方たちはどのような未来を夢みていらっしゃるのだろうと時折感じています。しかし、いつものことながら「新春のつどい」で国内奨学生のみなさんの将来への希望に満ちたスピーチを伺うと、シニアの心配は杞憂にすぎないと安心し、力強いエネルギーをいただきます。世界に何がおころうとしっかりと自分の目指す道を歩まれてゆく心構えが、どなたのスピーチからもしっかりと伝わってきました。

昨年は日本のジェンダーギャップ指数が世界125位で、その要因が政治・経済分野での女性比率の低さにあるというニュースが私たちに衝撃を与えました。昨秋開催された全国セミナーでは、日本の政治社会での女性参画の現状を基調講演者やパネリストの市長、市議員経験者から伺い、この問題について理解を深めることができました。こ

のセミナーの登壇者のみなさまのお話では「つなぐ、つなげる」「生きづらさ」という2つの言葉がしばしば使われておりました。まさに分断されやすく生きることの困難な現在の世界、とくに日本の現状を的確に表現している言葉で、「生きづらさ」を解消するために「つなぐ、つなげる」試みが種々の形で行われています。JAUWでも昨年度から若手会員や国内奨学生などの参加を目的とした活動を始め、若手会員主導で運営される「次世代につなぐ会」が発足しています。JAUWシニア会員の多彩な「知」を継承しつつ、現役世代には使い慣れたツールとなっている情報手段を駆使してつながり支え合ってゆこうとしています。今回のセミナー会場でオンライン配信に不具合が起こった折には、登壇者の学生さんたちがすばやく助太刀してくださいました。まさに現在の社会そのままの「支え合う」光景だと感じました。シニア世代と次世代との連携によりJAUWが新たな一歩を踏み出すことを期待しております。

今度こそ愛知へ！喜びを共有し、繋がりを深めましょう

愛知支部長 稲葉みどり

2024年度の全国総会は、再び名古屋で皆様をお迎えする機会となりました。愛知支部では、一丸となって準備を進めております。私たちのコンセプトは、「交流」、「体験」、「地元の魅力」、「ネットワークの強化」です。会場は名古屋駅から地下鉄で約15分の「ホテルルブラ王山」です。宿泊にもご利用いただけます。

1日目は、支部長会と懇親会、2日目は、総会と講演会を開催します。講演は、名古屋出身の日本近世文学・芸能研究者である安田文吉氏に、名古屋の魅力についてお話しいただきます。名古屋の歴史、芸能、食文化、名古屋人気質など、名古屋を深く理解する手がかりとなる内容です。

3日目の研修旅行では、有松絞りの制作体験、蒲郡クラシックホテルで地元の伝統料理の賞味、そして、西尾ブランドの抹茶の試飲などを予定しています。皆様と一緒に体験することで、喜びを共有し、繋がりをより深めることをめざしています。

私たちの地元愛知での総会が、支部間の交流や会員同士の親交を深め、全国ネットワークをより強化できる機会になればと願っています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



2024年度全国総会・第13回定時会員総会日程

2024年5月11日（土）～13日（月）

2024年度全国総会・第13回定時会員総会を愛知県名古屋市中で開催致します。日程は以下のとおりです。

1. 全国総会日程

会場：ホテルルブラ王山

◆5月11日（土）支部長会&懇親会

【支部長会】14：30～16：30（2F 葵（あおい））

【懇親会】17：00～19：00（2F 金鯱（きんこ））

◆5月12日（日）総会&講演会

【総会】9：30～16：30（2F 飛翔（ひしょう））

*定時会員総会 9：30～12：00

【昼食】12：00～13：00

〈臨時理事会・昼食会〉（3F 鳳凰（ほうおう））

*講演会13：00～14：30

講師：日本近世文学・芸能研究者 安田文吉氏

テーマ：名古屋の魅力（伝統芸能、食文化、気質等）

*全国総会 15：00～16：30

本部主催：ユースと共に拓く大学女性協会の未来

◆5月13日（月）8：15～17：15

【研修旅行】愛知県内周遊（名鉄観光バスツアー）

愛知の魅力を体験する研修旅行です。有松絞りの制作、蒲郡クラシックホテル訪問、三河湾の美しい自然を満喫、ランチは地元の伝統の味を賞味、西尾抹茶ミュージアムで抹茶試飲と製造工程見学等、盛りだくさんの企画です。歩く部分はほとんどございませんので、どなたでも安心してご参加いただけます。

2. 参加費

総会費 3,000円 懇親会費 11,000円

昼食費 3,500円 研修旅行費 16,000円

3. 会場・宿泊ご案内

《ホテルルブラ王山》

〒464-0841 名古屋市中千種区覚王山通8-18

電話052-762-3151 宿泊予約直通：052-762-3105

宿泊のご予約、お支払い、変更、お問い合わせは各自ホテルへ直接お願い致します。その際、必ず大学女性協会とお伝えください。あらかじめ何室か押さえていますが、先着順となっております。

4. 申し込み方法

*別紙の「支部提出用申込書」に必要事項を記入の上、各支部長へ提出します。支部長は出席者を取りまとめて、「支部出席者まとめ書」を3月25日（月）必着で実行委員宛にお送りください。（連絡先・送付先は別紙参照）

*参加費（総会費、懇親会費、昼食費、研修旅行費）の送金は4月8日（月）必着で下記の口座に個人別にお振り込みをお願い致します。手数料は各自でご負担ください。

ゆうちょ銀行 【記号】12120 【番号】58276161

【加入者名】「一般社団法人大学女性協会愛知支部」

振り込み者は、個人名、及び、支部名をお願いします。

例 郵貯銀子 愛知

*総会、昼食、懇親会、研修旅行のキャンセルは4月20日（土）までとします。ただし、総会費3,000円は、日時に関係なく、返却できませんのでご了承ください。

5. 問い合わせ先

実行委員長 愛知支部 妹尾瑤子

連絡先は、会報とは別に送られる総会案内に記載されていますので、そちらでご確認をお願いします。

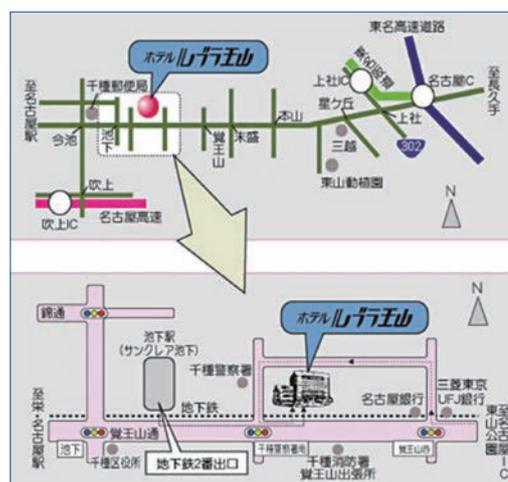
★研修旅行（13日）の詳細な内容を別紙のチラシでご案内していますので、ご覧ください。

6. 交通のご案内

《ホテルルブラ王山》

◆名古屋セントレア空港より、名鉄電車（ミュースカイ）で名古屋駅まで28分 ◆名古屋駅より地下鉄東山線 藤が丘方面行「池下駅」下車（13分）2番出口より徒歩3分

【アクセスマップ】



会員の皆様へお願い

4月下旬に「第13回定時会員総会開催通知」と「総会議案書」、「議決権行使書」（葉書）を正会員の皆様へ発送いたします。「総会議案書」には決議事項、2023年度決算、役員選任の件、報告事項、予算等各議案が記載されていますので必ずご覧ください。定時会員総会は重要な総会です。正会員の皆様には万障お繰り合わせの上、ご出席をお願いいたします。欠席の場合は「議決権行使書」にご記入いただき、署名、捺印の上、5月9日（木）必着でご返送ください。

JAUW 新春のつどい 第1部

国内奨学金贈呈式

2024年1月13日 (土) 学士会館にて

第76回 一般奨学生・第33回安井医学奨学生選考にあたって

国内奨学委員長 向後紀代美

「将来のリーダーになり得る優秀な女子学生に学資を授与し、勉学や研究活動を奨励すること」というコンセプトのもと、今年で当協会の一般奨学金は76年目、社会福祉奨学金は52年目、安井医学奨学金は33年目を迎えました。今年もまた優秀な応募者から以下の通り選考しました。

6月に23支部を経由し大学へ募集書類を発送し、同時にホームページからの募集も開始、8月31日に応募を締め切りました。応募総数73名のうち一般奨学金応募者57名の一次選考を各支部で行い34名を選抜、社会福祉奨学金応募者6名、安井医学奨学金応募者10名を加え、49名を本選考の対象としました。

10月に、国内奨学委員会では羽生香織選考長が委員18名の評価結果を集計し、本選考を実施しました。研究遂行能力、将来性、リーダーとしての資質・熱意、博士課程の前期・後期バランス、地域バランスを考慮し、その結果、一般奨学生6名(井城綾沙、Ekachaeryanti Zain、佐久間海帆、長井里緒奈、西森早紀子、平西明日香)、安井医学奨学生1名(川口舞)を候補者としました。

応募者のうち、女性、教育、国際関係分野の研究を行う学生1名を、大学女性協会創立に貢献したアメリカ人ル・ホームズ氏を記念し創設された「ホームズ奨学生」としておりますが、今年度は、アトラクションに反映されたアメリカの人種意識の研究をされた前田優梨さん(社会福祉奨学生)を選出しました。11月理事会で全員承認されました。

近年は、博士前期課程(修士課程)の応募が多く、又、分野別では文系、理系の枠組みにとらわれない文理融合型テーマも増えてきたこと、理系では医学・生理学関連の研究も少なくないことが特徴でした。



今年1月の贈呈式には、社会福祉奨学生を含め9名が参加されました。

この場を借りましてご協力賜りました全国支部の方々、関係理事に感謝申し上げます。

第52回社会福祉奨学生選考にあたって

社会福祉委員長 遠藤理枝

今年度も6月1日から8月31日の間募集を行い、大学生は岐阜県1名、東京支部2名、大阪支部1名の計4名、大学院生は京都支部・大阪支部各1名の計2名の応募がありました。厳正かつ慎重に選考し、身体に障害のある学業・人物ともに優秀で将来リーダーとなり得る女子学生として、アメリカが辿ってきた人種間を巡る歴史を研究する日本女子大学4年生の前田優梨さん、財務会計理論と実践を学ぶ早稲田大学3年生の神山理帆さん、社会的力学に曝されている障害当事者の視点で、障害学、治療学、アイデンティティ・ポリティクスについて研究を深めている京都大学大学院修士課程2年生の油田優衣さんが選ばれました。奨学生の今後一層の活躍をお祈りします。なお、前田優梨さんはホームズ奨学生に選ばれました。

ホームズ・社会福祉奨学生

ディズニーアトラクションにおける人種の表象



日本女子大学 文学部4年
前田優梨

研究概要と将来の抱負について

私はアメリカ文学ゼミに所属し、映画『南部の唄』を巡る問題について研究しています。映画『南部の唄』は、ディズニーランドのアトラクション「スプラッシュマウンテン」の題材となっている物語です。しかし、この映画を巡ってアメリカ国内での黒人描写の論争が起きたことにより、映画公開と共にDVDが発売禁止となっています。加えて、2023年をもってアメリカ国内のディズニーランドでは、映画『南部の唄』をモチーフとしたアトラクション、スプラッシュマウンテンは閉鎖され、正式に題材変更が発表されています。それに対し、私は問題となった映画『南部の唄』が常に批判の対象になる点に疑念を抱きました。そこで、黒人を初めて主人公として扱ったディズニー映画『南部の唄』と新たに誕生するアトラクションのテーマに採用された、ディズニー初の黒人プリンセスが主人公となった映画『プリンセスと魔法のキス』との相違点を明らかにすることで、20世紀後半から21世紀にかけてのアメリカにおける人種観の変化を考察します。その上で、映画『南部の唄』に対する評価の見直しや現在アトラクションのテーマを変更する意義を提示します。大学でのアメリカの人種観に関する学習や1人の障害者として挑んだ就職活動を通して、多様性に対する自分自身の意見を持つようになりました。このような大学生活を通じて得た見解や価値観を活かし、将来は国際的に活躍できるような広報のプロフェッショナルになることを目指します。

一般奨学生

骨格筋萎縮により誘発される認知障害発症メカニズムの解明



富山大学大学院 医学薬学教育部

薬科学専攻 博士後期課程3年

井城 綾沙

アルツハイマー病発症の危険因子に関する疫学的研究は数多くあり、遺伝的素因以外の危険因子として、加齢、

脳挫傷、生活習慣病などが示され、また危険低下因子としては、教育歴の長さ、運動があげられています。また、加齢により筋量・筋力が低下する状態であるサルコペニアと認知症の併存率が高いことや、長期入院により認知症発症リスクが高まることが報告されており、身体活動の低下が認知機能に影響を及ぼす可能性が考えられています。しかし、認知機能低下の原因が骨格筋萎縮によるものかどうかを直接証明した報告はありませんでした。本研究は、骨格筋の活動減少に起因して認知障害が発症することとその分子機序を解明することを目的としています。すでに、骨格筋から分泌されて脳に達し認知障害を発症させる可能性のある有害分子を同定しました。この分子を阻害することで全く新しい認知症予防戦略の確立を目指しています。

私は日々研究を続ける中で、サイエンスの醍醐味に触れ、今の研究が未来の医療を豊かにする可能性を感じています。新しいことを取り入れながら、課題解決に挑戦していきたいです。あらゆる壁を越えながら、一人前の女性研究者になることを目指します。

キュー刺激課題遂行中の脳磁図測定によるインターネット・ゲーム障害患者の脳活動におけるグループ心理療法の効果



新潟大学大学院 医歯学総合研究科

精神医学専攻 博士課程3年

エカチャエリアンティ ザイン

インターネット・ゲーム障害 (IGD) は、心理社会的問題を引き起こし、インターネット・ゲームを過剰に使用し

続けることを特徴とする新しい精神障害であり、行動依存症の一つと考えられている。公衆衛生上、非常に重要な問題であり、世界中で学業、社会、職業上の障害を引き起こしている。日本でも、2020年の厚生労働省ゲーム依存症対策連絡会議の報告書において、中高生のネット・ゲーム依存症疑いの陽性率が急増していることが示された。さらに、インターネットはどこにでもあるため、IGDは、ある意味、アルコール依存症や薬物依存症よりも治療が困難で

ある。これらを考慮し、神経活動のタイミングを非常に高い時間分解能をもって測定できる脳磁図を使用して、IGDに関連する脳活動の病理を解明することの重要性が高まっている。さらにこの研究により、IGD患者に施されるグループ心理療法がどのように脳機能を改善できるかを解明することができ、精神医学的介入の生物学的根拠を明らかにすることができる。

過去7年間、臨床精神医学と地域精神保健サービスに携わってきたインドネシアの精神科医として、私は日本で博士号を取得し、メンタルヘルス分野の研究活動にさらに貢献したいと考えている。また私は精神医学の分野で重要な役割を果たし、社会におけるジェンダーの意識と感受性を高め、ジェンダーの多様性の受け入れを促進したいと考えている。

精子星状体の回転運動機構解析



お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科

博士前期課程2年

佐久間 海帆

受精や初期発生といった、発生の最初期における現象は、生命のはじまりに直接的に関わるものであるため、生命において重要な意義があります。また、初期胚における異常はダウン症をはじめとする様々な疾患・先天異常に関わりうるものであるため、医学的にもこれらの過程に対する深い理解が求められています。しかし、初期胚に関する研究は技術的な課題も多く、様々な現象・機構が未解明のままとなっています。

私の所属する研究室では、ヒトの卵を用いて、初期発生における未知の機構の解明に取り組んでいます。私の研究課題は「精子星状体の回転運動機構解析」です。数年前、当研究室で、受精後の精子由来星状体（微小管形成中心である中心体と、それより伸長する微小管を合わせた名称）が卵内で回転運動を行う現象を発見しました。生体内において、星状体および微小管が回転運動を行う現象は報告がなく、初期発生における新たな機構解明にとどまらない研究成果が得られるのではないかと期待しています。

近年の研究より、ヒト初期胚の染色体異常発生率は50%を超え、母体年齢と共にさらに異常率が上昇することが明らかとなっています。私は、博士後期課程およびその後の研究人生においても、この発生学に携わっていきたくており、生命にとって重要な多くの現象・機構を明らかにしていきたいと思っています。

古代・中世における十一面観音像の異形表現について



早稲田大学大学院 文学研究科
美術史学コース 修士課程2年
ながい りおな
長井里緒奈

わが国では古代から膨大な数の仏像が制作されてきました。とりわけ、十一面観音像は早くも奈良時代頃から制作されており、衆生を救済する存在として性別や身分を問わず広く信仰されてきた尊格です。通常、仏像は經典の記述に基づいて身体的特徴や着衣、持物等が造形されますが、実際の美術作例ではこうした規範に即さない例外的な表現をとる作例もみられます。仏像制作の背景には、必ず人間の祈りが存在します。たとえば、病気治癒や極楽往生、追善供養（故人の冥福を祈って、生人が善行をすること）などが挙げられますが、こうした機縁は十数世紀を経た現代に生きる我々も共感しうる普遍的な願いといえるでしょう。とりわけ、特異な造形表現をとる作例は、そうした意思の強さが視覚的に表れているとみられます。こうした作例の造像背景を解明することは、造形と密接にかかわる思想や歴史的背景、地理的条件などの追究にもつながり、美術史学のみならず人文学の諸分野に示唆を与えることが予想されます。

私は、作品研究を通じて文化財と文化芸術がもつ価値や魅力を多くの人に伝え、豊かで多様性が尊重される社会の形成に尽力したいと考えております。現在、人文科学領域における女性研究者の割合は、他領域に比べると高い傾向にあります。研究者全体の割合でみればマイノリティであることに変わりはありません。次世代の女性研究者が、より多くの機会を得て躍進できるように、日本文化の振興に寄与する人材となることを目指します。

ニュートリノビームの高精度測定により目指すレプトンにおける CP 対称性の破れの発見



総合研究大学院大学
高エネルギー加速器科学研究科
素粒子原子核専攻
5年一貫博士課程3年
にしもり さきこ
西森早紀子

私は現在、ニュートリノという素粒子の研究を行っています。この粒子はとても軽く電荷を持たない粒子で、さらにニュートリノ振動というある一定の確率で3種類ある他の種類のニュートリノに変化するという性質を持っています。素粒子には質量とスピンは等しく電荷の正負が逆の関係にある反粒子が存在していますが、ニュートリノにも反ニュートリノが存在しています。T2K実験ではニュートリノと反ニュートリノの性質の違いをニ

ュートリノ振動を用いて調べています。この実験は茨城県東海村のJ-PARC から岐阜県飛騨市のスーパーカミオカンデまでニュートリノと反ニュートリノのビームを飛ばし、その間に別の種類のニュートリノに振動する数の違いを用いて、粒子と反粒子の違いを調べています。この実験の解析精度を向上するためには、ニュートリノビームについて研究する必要があります。私は CERN NA61実験でハドロン生成の測定をすることでニュートリノビーム生成の研究を進めています。

今まで実験や学会発表などで様々な国を訪れましたが、その中で物理の研究だけでなく、国際情勢や異文化についての知識も増えたと感じています。素粒子実験は国際共同実験が多くあり、このように研究以外にも視野を広げられる分野であると考えています。将来はこれらの経験を生かし、国際的な視点を持ち合わせた研究者になり世界をリードしていけるような人間を目指します。

防災と両立した魅力的なまちづくりを目指して



三重大学大学院 工学研究科
建築学専攻 博士前期課程2年
ひらにしあすか
平西明日香

2011年の東日本大震災後、2つの主要な復興課題が浮かび上がりました。一つは「コンパクト・プラス・ネットワーク型都市」に適応していない復興です。我が国の人口の急激な減少と高齢化を背景として、居住機能や様々な都市機能を集約化する政策が打ち出されている中、被災地では居住地の集約が不十分となっています。もう一つの課題は、住まいの不連続な復興による被災者や自治体の負担です。被災者が避難所から仮設住宅、災害公営住宅へと移住することは、身体的及び精神的な負担であり、仮設住宅の廃棄処分も問題となっています。

こうした中、私は、人口減少社会や被災者負担の軽減を考慮した住まいの復興計画における建設候補地の在り方について研究しています。1.集約型都市への転換に寄与するために居住誘導区域内の建設候補地を積極的に活用すること、2.度重なる転居による被災者の負担を軽減するために木造仮設住宅を復興住宅として継続利用すること、3.コミュニティに配慮し、被災前の住区を単位として計画すること、の3つの観点に基づいた計画が望ましいと考え、三重県で津波被害の想定される沿岸部に位置している6市町を対象に、建設候補地の事前検討を行っています。このような建設候補地の事前検討は災害時の迅速な復興に役立ち、防災意識を持った提案が安全なまちづくりに貢献すると考えます。将来は防災や自然との共生を意識した都市計画を通じて、魅力的なまちを創出していきたいです。

安井医学奨学生

筋萎縮を伴う神経変性におけるリン脂質分解経路の生理学的意義の解明



東京大学大学院 医学系研究科
分子細胞生物学専攻 博士課程4年
川口 舞

運動ニューロン疾患は上位/下位運動ニューロンの変性・脱落を伴い、進行性の筋萎縮を引き起こします。これらの疾患では異常タンパク質の蓄積や

恒常性維持の破綻により特定の神経細胞が変性することが知られていますが、根本的な病態形成メカニズムは未解明な点が多いのが現状です。現在、私は「リゾホスホリパーゼ」というリン脂質分解酵素に着目し、運動ニューロン疾患の分子メカニズムの一端を解明しようと試んでいます。リン脂質分解経路において、リゾホスホリパーゼは鍵となる重要な酵素です。このリゾホスホリパーゼのヒト変異は、運動ニューロン疾患との関与がすでに示唆されているものの、神経変性に至る分子機構は解明されておりません。私は主にこのリゾホスホリパーゼを欠損させたマウスモデルを解析し、研究を進めてまいりました。今後はリン脂質分解経路の破綻により運動ニューロン疾患が引き起こされる分子メカニズムを細胞内オルガネラレベルでより詳細に明らかにしたいと考えています。本研究を通じてリン脂質分解経路の異常と運動ニューロン疾患の関連が分子レベルで明らかになれば、神経原性筋萎縮の新しい分子標的の提唱に繋がり、生体内の複雑な代謝の理解への一助になることが期待されます。

私にとっての研究の魅力は、自ら仮説を立て、実験をデザインし、好きな方法で検証を行うことができることです。今後も引き続き学際的な研究を推進し、世界の第一線で活躍する女性研究者を目指します。

社会福祉奨学生

財務会計理論と日経ストックリーグへの挑戦



早稲田大学 商学部3年
神山理帆

私は現在会計学を専攻しており、財務会計論について学んでいます。財務会計では、企業の計算書類上の数値からその企業の会計処理の行い方や経営状態、どのような社会的因子に影響され

やすいか等、多くの情報を読み取っていきます。例えば今年度の当期純利益が前年度以前と比べて急激に上昇している場合、その原因を単純に「多くの売上をあげたから」とは捉えず、「会計処理の方針を変えている」「負のれんを

計上している」「売上原価に値する燃料等の費用が急激に低くなった」等、様々な方向性から多くの情報を用いて原因を特定していきます。このように、1つの数値の裏側にある背景をあらゆる情報を用いて考えることが楽しく、そこに財務会計の魅力を感じています。

私の所属しているゼミでは教科書の輪読で財務会計論に対する学びを深めるとともに、チームごとに「日経ストックリーグ」にも挑戦しています。日経ストックリーグでは仮想の株式市場で独自の投資ポートフォリオを組み立てていきます。自分達で決めたテーマを軸に数多くある企業から定量的・定性的視点よりスクリーニング作業を行い、最終選定企業を絞り込んでいきます。課題は難しいですが、チームメンバーと協力し、意見を出し合いながら挑戦と失敗を繰り返して進めています。

将来的には現在学んでいる会計学の知識を活かした職に就きたいです。これからもゼミ等を通して更に財務会計に対する学術的知見を深めていきたいと思っています。

「治療」の選択をめぐる障害のポリティクス：

SMA 当事者へのインタビューを通じて



京都大学大学院 教育学研究科
修士課程2年

ゆだゆい
田田優衣

私は脊髄性筋萎縮症という障害があり、24時間の公的な介助サービスを使いながら生活しています。大学に通うにあたっては、大学が提供する修学上の

サポートと行政が提供する介助サービスを利用しています。

大学院では、治療の選択をめぐる障害当事者が置かれている社会的状況について調査をしています。近年、これまで治療不可能とされてきた疾患に対する治療薬が続々と開発されています。多くの人々は治療薬の登場を喜ばしいことだと考えるでしょう。しかし、治療薬の登場をめぐる出来事はそれだけではありません。障害当事者の中には、治療薬の登場に対して否定的な態度を取ったり、自分が治療を受けていいのだろうかと思ったりする人もいます。障害当事者の多様な経験は、しかしながら、世間の「治療＝良いこと」という価値観や、障害学や障害者運動の中での治療というテーマへの忌避によって、明らかにされてきませんでした。本研究では、治療薬の登場をめぐる障害当事者の経験を調査し、治療という社会的実践の中で障害者に働いている力学や抑圧の様相を明らかにすることを目的とします。その作業は、障害学における「社会モデルvs治療」という二項対立的な議論をアップデートさせることにつながるでしょう。障害のある身体やその生を肯定するとはいかなることなのか、社会にいかなる抑圧が存在するかをより多くの人に考えてもらえるよう、引き続き、調査と研究成果の公開に力を入れていきます。

「GWI 会員広場」講演報告 **チャレンジ！チャレンジ！チャレンジ！**

東京支部 中野眞佐子 (Mako Beecken)

チャレンジその1は参加者の多様性でした！国際ネットワーク委員長鈴木千鶴子氏よりGWI Membership Marketplace「GWI会員広場」での日本文化と日本語講師の依頼をいただいたときは、軽い気持ちでお引き受けしました。しかし、よく考えると、参加者の共通点は高等教育を受けた女性であること以外は、国や言葉や文化、歴史や宗教、また年齢も様々。日本・日本語についての知識や興味のレベルも異なる方たちのどこに焦点を合わせて日本文化や言語の紹介をしたら喜んでいただけるのか大いに頭を悩ませました。試行錯誤しながら、講演内容を季節と結び付けた日本文化紹介、参加者に知っていただきたいこと、考えていただきたいことを織り込んだ少しマイナー部分の紹介を試みた結果、大変好評を得て胸をなでおろしました。

チャレンジその2は講演・講義を行う時間設定でした。時差を考慮しなければならないだけでなく、4週間の途中で夏時間から冬時間に切り替わった国もあり案内に苦労がありました。結果的には、午前1時、2時にも関わらず、スイスやエジプトから参加して下さった方たちもいて、日本文化や言語に対する興味の深さに感激しました。

チャレンジその3は、ズームで20人近くの方たちに日本語を教えることでした。私は、コロナによるパンデミックが始まる前の2019年の夏に教鞭を執っていた大学を退職したため完全オンラインの授業を経験していません。私の教え方はスライドなどを使いながらも、対面でrealia（現物）を用いたり様々な教室活動を通し、一人一人の学生に注意を払うというスタイルでした。参加者の反応や表情の把握がしにくいズームでもできるだけインターアクティブになるように事前資料やスライド作成に工夫をしました。たった3回の講義でしたが、参加者には喜んでいただけたようです。中でも、「マコ先生に教えてもらったコロラドの学生さん達は幸せですね。」というコメントに感動しました。



中野さん（上から2人目）と聴講者の一部

新春のつどい 第2部

親睦事業委員会 藤谷文子

例年どおり今年も学生会館に於いて、本部主催の新春のつどいが行われた。ベテラン親睦委員会のメンバー6名で年末年始をはさみ入金、名簿、名札、席次の確認、第1部の奨学金贈呈式、第2部の会員の親睦に至るまでの時間配分などの調整をする中、コロナ明けのためか80名（10名の奨学生を含む）もの多数参加となりうれしい悲鳴であった。

第1部の国内奨学金贈呈式は厳かな雰囲気の中、総勢9名に（当日1名欠席）岩村会長から賞状が手渡された。一年の初めに奨学生達の研究成果のスピーチに耳を傾けながらこの会の柱である奨学金事業の大切さを痛感したのは私だけではないと思う。

第2部は松崎事業担当理事の挨拶とともに収益、親睦、文化委員会の説明がなされた。それに続き、鷺見元会長による乾杯のご挨拶の中で能登の被災状況が語られた。

尚、理事会で急きょ決定し能登半島地震募金箱が設置さ

れたのは良かったと思う。かなりの額が集まったのではなかろうか。（広報 注：10万円集まりました）

能登地震を考慮しながら乾杯が粛々と行われ会員同士の親睦が始まった。前菜の美しい盛り合わせに食事に大いなる期待を持ちながら、各テーブル和気あいあいと話に花が咲き、今回は10テーブル全部に奨学生が1人座るということだったので食事の会話が皆楽しそうだった。恒例の各支部支部長からの現状報告の後、司会者のとっさの判断で当日出席の唯一の男性で奨学生のパートナーにマイクが向けられ、ともに東大医学部院生同士とか、今後の研究に期待がふくらんだ。今までは親御さんがいらしていたのだが時代は変わったものと実感した。元奨学生2名の参加もうれしいことだった。最後に5月に開催の総会に関して愛知支部からのお誘い挨拶で今年の会も無事終了した。



奨学生とテーブルを囲んで



バザー風景

大学女性協会編『災害の記憶をつなぐ』の会員による

諸機関寄贈先および協力金ご寄付のご報告

生涯学習委員会委員長 曾田佳代子
担当理事 窪田 憲子

昨年刊行された『災害の記憶をつなぐ』は会員の皆さまのご協力により、予定していた500冊の配布が昨年末で完了しました。また会員個人がさまざまな機関に寄贈し、会の活動の周知に努めてくださいました。本部に寄せられた、会員による寄贈機関は以下の通りです。なお、その際のエピソード、および支部からの寄贈先は追って協会のウェブサイトで公開します。

会員個人による諸機関への寄贈先（2023年12月末現在）

札幌市中央図書館、北海道青少年科学文化財団、滝川市立図書館、仙台市泉区図書館、登米市立図書館、南三陸町図書館、水戸市長、ひたちなか市長、茨城県立筑西保健所、三笠宮彬子女王殿下、お茶の水女子大学附属図書館、杉並区役所危機管理室防災課、小平市長、高齢社会をよくする女性の会、学校法人アジア学院、目黒区本町図書館、外務省総合外交政策局女性参画推進室、日本キリスト教婦人矯風会、認定NPO法人チャイルドファンド・ジャパン、日本パシイワ、横浜市男女共同参画センター（横浜フォーラム、横浜南フォーラム南太田）、戸塚図書館、登戸学寮、川崎市麻生区図書館、春風学寮、名古屋鶴舞中央図書館、名古屋市役所防災危機管理局危機対策室、宝塚市図書館、宝塚市男女共同参画センター、富士学院岡山校、福岡市男女共同参画推進センター・アミカス、福岡市高取公民館、熊本県男女共同参画センター、熊本市男女共同参画センター、大英図書館（イギリス）、米国議会図書館（アメリカ）

『災害の記憶をつなぐ』出版協力金寄付者ご芳名

（敬称略・支部別・五十音順 2024年2月末現在）

（札幌支部）関川正美、堀内満智子（秋田支部）橋本澄子（仙台支部）相澤富美江、赤松千鶴、岩倉敦子、氏家 薫、黒澤和子、小関和子、渋谷由美子、島原洋子、中屋紀子、松山寿美子、松山裕美子、谷地森涼子、若菜令子（群馬支部）植原映子（茨城支部）安藤隆子、飯田久子、加藤光子、加藤実穂子、小林れい子、中島美那子、長谷川典子、牧島悠美子、松本由美子、胸組恵子、横須賀典子（新潟支部）大渊智絵、鈴木裕美、高橋令子、田代信子、長谷川かよ子、長谷川道子（神奈川支部）穂田信子、鷺見八重子、西村寿美子、渡部由紀子（東京支部）阿部幸子、安東桂子、糸原園子、伊能美智子、岩村道子、遠藤理枝、大島杏子、太田恵子、加藤恵津子、加藤聖子、木村和子、窪田憲子、向後紀代美、後藤祥子、児林英子、今野美智子、坂上栄美子、佐々木澄子、嶋田君枝、庄司ヨシ、鈴木公江、高坪富美子、高橋真理子、田島節子、建部静代、辻 英子、中村久瑠美、中山正子、中山律子、西田節子、端本和子、長谷川瑞穂、日向美砂子、平田恭子、藤谷文子、藤森洵子、細田照子、松崎和子、松村美枝子、丸山庸子、宮原千佳子、村木晴子、森川淳子、矢口有乃、矢島多恵子、鷺崎千春（長野支部）徳田節子（福井支部）東野香里（金沢支部）木梨由利、升村登美子（静岡支部）大塚佐枝美、佐藤成子、林 幸子（愛知支部）稲葉みどり、栗田富美子（奈良支部）志垣 瞳、中道貞子、疋田洋子（京都支部）久保宜子、島田洋子、高橋侑子、中村泰子、松尾景子（大阪支部）中村茂子（神戸支部）片岡聰子、唐島幸子、杉本和子、東條喜代子、松村和子、美野寿々子（岡山支部）秋光正子、岡崎優子、長田友子、片岡雅子、木口京子、近藤みち子、曾田佳代子、高田武子、竹井恵子、中原香代子、矢吹眞弓（広島支部）柿本因子、児玉明子、山手万知子（長崎支部）梅田和子、鈴木千鶴子、平野啓子（福岡支部）久保田千景、桑原洋子、萩尾憲子（熊本支部）武宮公子、八幡彩子（大分支部）安藤道子、井野邊陽子、内田芳子、江崎一子（元神戸支部）飯田嘉壽子、岡田貴代江、樋口由美子 【匿名希望】1名

2023年5月の募金開始から、寄付者は138名（延べ人数150名）、寄付金総額は977,240円に達しました。感謝とともにご報告申し上げます。

文化交流委員会の活動について

文化交流委員長 建部静代

2018年からあらたな組織に位置づけられた文化交流委員会は国際支援のなかに編成されています。2018年は国際交流への取り組みが国でも民間レベルでも大きな指標となっていました。しかし、その後の世界的なコロナの蔓延は各界に先の見えない大きな変化をもたらすこととなります。

「まだ、文学では読むことがあっても想像がつかないこと」という体験をTOKYOという都市のなかで「ホンモノ」を提供できると考えて委員会一同会員のみなさまと留学生とともに学ぶということを基本に企画しています。

2023年度は源氏物語をテーマに2本企画しました。6月10日に国立能楽堂にて能と狂言鑑賞と「リンボウ先生の能楽講座第4楽章」を実施しました。参加者は35名です。(中国、

カナダ、スロバキア、ポーランド、ブラジル、ギリシャからの留学生12名と会員23名)

「向日葵」でのランチ交流会では、岩村道子会長、岡崎優子担当理事の挨拶に留学生の自己紹介などでなごやかに進む。能楽の始まる時間まで、併設の資料館で能楽の衣装や面を会員と一緒に鑑賞。

能楽堂ではリンボウ先生の解説・能楽案内「源氏物語の風韻を味わう」から幕が開いた。狂言・惣八(丸石やすし・大蔵流)、能・半部(はじとみ)(寺井榮・観世流)は源氏物語の夕顔の巻による可憐な恋の思い出を描く作品。

終了後、研修用能舞台へ移動して、特別講座「リンボウ先生の能楽講座第4楽章」がはじまった。



「鏡の間」から「シテ」を演ずる留学生のために揚幕を上げるリンボウ先生



リンボウ先生を囲んで

Jカフェ第16回報告

「書は祈り」—源氏物語絵巻—

講師 東京支部 端本和子

いつもお会いしております端本さんのお話、それも書道からの源氏物語、興味深々でした。書道をライフワークにされてから、努力と探求心からどんどんその道に進まれ、ご縁で留学生とも関係が出来、東京外国語大学留学生センターで講義もされておられたとのこと。

ライフワークの1つ「源氏物語を読み通すこと」で仮名を読む会にも行かれたとのこと、本当にあの仮名は読めないです。でも少しでも読めるとあの平安時代に書かれた本が読めるという感激があり、私も源氏物語にひかれていきました。

源氏物語は底本の藤原定家の青表紙本、源光行・源親行の河内本が有名です。私は底本が先にあると思っていたのですが、あの源氏絵巻物が先とのこと。

12世紀前半に白川院・鳥羽院を中心とした宮廷サロンで製作されたと考えておられるらしいです。なんとゴージャスなりッチな絵巻物がこの時代に作られたこと。すごいセンスをこの時代の方は持っていたんだと感激します。これを端本さんは臨書されています。私も少しかじったのです

が臨書は本当にむつかしいです。端本さんは柏木の段、柏木が夕霧(光源氏の息子)が見舞いに来て妻の落葉の君を託し、亡くなることを文字で感情を載せて書かれている、また紫の上が亡くなる場面の感情を重ね字で表され、その文字の表情、書き手の感情までも臨書され、あまりの見事さにこれは素敵な立派な作品だと思いました。また絵巻物の文字があんなに書き手の感情、美意識を表しているなんて初めて知りました。

最近また野々宮神社に行きました。結界の黒の鳥居、黒文字の小柴垣。なぜか六条の御息所と源氏が物語の人なのに実在の人物のように思えてなりません。

神戸支部 松村和子



源氏物語絵巻 「御法」 端本和子臨

支部だより

超高齢集団の支部です

長野支部 丸山正子

当支部は昭和24年に発足し、20年前頃には会員数が20名以上でしたが、現在は長野市在住の7名となりました。そのうち80歳代が4名の超高齢集団になりました。2009年から活動のテーマを「高齢期に生きる」と設定して、施設見学や講演会等の参加を続けてきました。

定例会ではヨガ講師の会員からフレイル予防のための身体の動かし方や簡単なゆがみ修正の方法を習い、毎回身体を動かすのも楽しみの一つです。2019年と2022年には当支部から申請した学生に奨学金が貸与され、支部の役割を果たす事が出来ました。これからの会員拡大は心細い限りですが、定例会で会食したり、雑談に花を咲かせたり、高齢

化が進むとますますこの会の存続のありがたさを身に染みて感じるこの頃です。



外国につながる児童生徒の教育の充実のために—熊本大学教職大学院の取組— 熊本支部 八幡（谷口）彩子

皆さま、こんにちは。熊本支部の八幡です。熊本支部では、2019年にJAUW調査・研究委員会の「外国にルーツのある住民と多文化共生の取組についての調査」に協力し、岡本美和支部長他数名が熊本市教育委員会に話を伺いました。熊本市は1999年に文部省の指定を受け、市内に外国人児童生徒が点在する地域として独自の支援体制を確立し、日本語指導に取り組んでおり、報告書（2021年）では「好事例」として紹介されています。

今熊本では、台湾の世界的半導体企業TSMCの熊本進出を機に、外国人材の受入れ・共生を促進するため、これまで以上に外国につながる児童生徒の教育の充実が急務となっています。今年度、八幡が所属する熊本大学教職大学院では、文部科学省の「成長分野における即戦力人材輩出に

向けたりカレント教育推進事業」に採択され、日本語教育の人材不足を補い、外国につながる児童生徒の学習支援・生活支援に関する専門的知識・技能を有する教員等の養成・研修プログラムに取り組んでいます。

このプログラムは、日本語教育学会が文部科学省の委託事業としてまとめた「豆の木モデル」を参考に、子どもの実態や社会的背景を「捉える力」、日本語・教科の力や異文化間能力を「育む力」、学校・地域を「つなぐ力」、多文化共生社会の実現や教師としての成長へ「変わる／変える力」の4つの資質・能力の育成を目指しています。

2023年9月、このモデルのとりまとめ役を務めた日本語教育学会前会長齋藤ひろみ教授（東京学芸大学）を講師に招き、キックオフシンポジウムを開催したところ、支部会

員2名を含む85名の参加があり、短期（履修証明）プログラムを53名の熱意あふれる方々が受講中です。

学校・地域がつながることで言語や文化の壁をなくし、誰もが安心して教育を受けられる多文化共生社会が実現できるよう、お力添えをよろしくお願い申し上げます。



キックオフシンポジウムの様子（熊本市市民会館）

* みなさまの支部で紹介をなされたい先輩・同輩、あるいは歴史や活動などを、是非、広報委員会までお知らせください

第26回大学女性協会守田科学研究奨励賞贈呈式・受賞講演会

第26回守田科学研究奨励賞贈呈式および受賞講演会、祝賀パーティーを下記の要領で現地開催いたします。(第1回若手女性科学者海外研修助成事業対象者の報告を併せて行う予定です。)多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

日 時 2024年6月2日(日)
贈呈式 11時00分～11時20分
受賞講演 11時30分～12時40分 (Zoom 配信有)
若手女性科学者海外研修助成事業報告
 12時40分～13時00分 (Zoom 配信有)
受賞記念パーティー 13時10分～15時00分
会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
 住所: 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
 TEL: 03-3261-9921
 交通アクセス: <https://www.arcadia-jp.org/access/>
記念パーティー参加費 4,000円
受付開始 4月20日 (WEB 申込を予定)
 * 本年は贈呈式の開始時刻を11時といたしました。ご注意ください。
 * 受付詳細は WEB ページをご参照ください。

(一社)大学女性協会80周年記念募金パトリア寄付者ご芳名

期間: 2023年11月1日～2024年1月31日
 寄付者人数: 24名、寄付金額: 255,000円
 上記期間中の寄付者ご芳名(敬称略・支部別50音順)
 (長野) 三田コト (東京) 阿部幸子、窪田憲子、桑野啓子、向後紀代美、佐々木澄子、庄司ヨシ、辻 英子、縄田眞紀子、端本和子、鷲崎千春 (神奈川) 鷲見八重子、房野 桂 (愛知) 伴 紀子 (福井) 山田由美 (京都) 久保直子 (奈良) 橋本慶子 (広島) 山手万知子 (福岡) 萩尾憲子、榎谷紀子、守山恵子 (長崎) 梅田和子 (賛助会員) 三代文子、村上太郎
 全体期間: 2021年4月30日～2024年1月31日
 寄付者延人数: 259名、寄付総額: 3,177,600円

寄付金の振込先口座
 銀行: ゆうちょ銀行
 名義: 一般社団法人 大学女性協会
 ① 払込取扱票(郵便振替)で行う場合
 口座記号及び口座番号: 00130-0-587701
 ※パトリア募金専用の払込取扱票をお持ちの場合は、そのまま使用可能です。
 ② 他行から振込の場合
 支店名: 〇一九店
 口座種類及び口座番号: 当座 587701
 ※ゆうちょ銀行口座から振り込まれる場合も同じです。

Duo Hayashi 初夏のコンサート 文化事業委員会

編曲の妙味 ～曲作りの中にある作曲家の遊び～

チェロ: 林 俊昭 ピアノ: 林 由香子

お二人は73年よりデュオとしての活動を始め77年に渡欧。イタリアを中心に60回以上のコンサートでご活躍中。ミュンヘンはじめ多くの国際コンクールにおいて優勝、入選。今回は「編曲」がテーマです。どうぞお楽しみに!

日 時: 6月3日(月) 14:00開演 (13:30開場)
場 所: ルーテル市ヶ谷センターホール
チケット: 3月11日販売開始
 3,500円 全席自由



(詳細は同封のチラシをご覧ください。)

国際女性デー3月8日を前に 国際ネットワーク委員会

大学女性協会のミッションの1つは「国際協力の上で平和な世界を実現する女性リーダーを育てる」ことです。本委員会は2月3日にオンラインで、国連の女性に関する3つの機関: UN Women, CSW, CEDAWの特徴と役割について、第78回国連総会第3委員会政府代表顧問の紙谷雅子さん(学習院大学名誉教授)にご講演をいただき、国連がどんな手法でジェンダー平等と女性のエンパワーメントの実現を図っているのかを学びました。同時に、CSW68参加支援生に決まった吉原佐保さん(青山学院大学地球社会共生学部4年)と横山浩花さん(ノートルダム清心女子大学大学院文学研究科社会文化学専攻1年)から、目的・抱負・計画をそれぞれ語っていただき、今年度の若手派遣者のお披露目とさせていただきます。



横山浩花さん 吉原佐保さん 委員長・鈴木千鶴子

国立能楽堂開場40周年記念「狂言の会」 収益事業委員会

収益事業委員会主催、2023年最後の観劇は、国立能楽堂開場40周年記念、12月特別企画「狂言の会」でした。

12月21日(木曜日) 午後1時開演
 狂言 張蛸 野村又三郎(和泉流)
 狂言 米市 茂山七五三(大蔵流)
 狂言 金岡 野村 万蔵(和泉流)

演者の対話を中心としながらの「笑い」、そこには人間の本質的な姿が面白おかしく、なんとも滑稽に描きだされます。

参加者15名、年の瀬のせわしさをしばし忘れて、一年の笑い納めとなりました。



新入会員 理事会承認 2023年11月～2024年2月

東京支部	成田 眞澄	東京支部	古澤 有峰
神奈川支部	藤本 敬子	静岡支部	伊東 美加
熊本支部	杉山 雅代	福岡支部	石井 妙子

理事会から

- ▶ 会計理事の負担軽減のため、「すみだ税理士法人」に今年度より一部業務を委託します。
- ▶ 「新春のつどい」で呼びかけた能登半島地震災害支援募金に計10万円が寄せられました。2月末日まで受け付け、結果は会報次号で報告します。

一般社団法人 大学女性協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6 パトリア信濃町テラス101
 電話 03-3358-2882 F A X 03-3358-2889
<https://www.jauw.org> E-mail: jauw@jauw.org
 発行人 岩村 道子 編集責任者 端本 和子
 発行日 2024年3月7日